

2025年8月12日

(百万円未満切捨て)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(注) 包括利益	2026年3月期第1四半期	373百万円 (28.4%)	2025年3月期第1四半期	291百万円 (10.8%)
----------	---------------	----------------	---------------	----------------

(2) 連結財政状態

(参考) 自己資本	2026年3月期第1四半期	5,388百万円	2025年3月期	5,123百万円
-----------	---------------	----------	----------	----------

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「－」としております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は60円、1株当たり年間配当金は66円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」ならびに本日公表の「中間配当の導入ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 40,000	% 2.2	百万円 1,150	% △1.1	百万円 1,100	% △4.5	百万円 700	% △23.5	円 銭 77.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2026年3月期の通期業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規2社 （社名）NIITAKAYA U. S. A. INC.、株式会社アクセルテック 除外ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	3,150,000株	2025年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	155,329株	2025年3月期	155,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	2,994,671株	2025年3月期1Q	2,989,671株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式分割の配当及び業績予想について）

当社は2025年6月9日開催の取締役会において、株式分割について決議し、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施することとしております。これに伴い、株式分割考慮前に換算した2026年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2026年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 6円（注1） 期末 60円（注2）

2026年3月期の1株当たり年間配当金（株式分割考慮前）は66円となります。

2. 2026年3月期の通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 期末 233円10銭（注3）

（注1）第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。

（注2）株式分割考慮前に換算した配当額であります。

（注3）株式分割考慮前に換算した1株当たりの当期純利益であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の継続的な改善や国内企業の設備投資の持ち直し等により、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、日本国内における金利水準の高まりや、米国の通商政策による関税率の引き上げの影響等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格の高騰や人件費の上昇等に対応した商品の値上げの影響により、消費者の節約志向が強まる傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力商材である食品副原料、農産物加工品、乳及び乳製品、環境関連商材の販売が堅調に推移したことに加え、製造販売事業において、魚卵等の加工販売が堅調に推移したことにより当第1四半期連結累計期間の売上高は10,693,835千円（前期比13.9%増）となりました。物流経費の増加により、販管費が増加したものの、売上高の増加に伴い売上総利益が大幅に増加したことにより、営業利益は597,435千円（前期比56.6%増）となりました。経常利益は574,473千円（前期比62.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は383,662千円（前期比65.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

卸売事業にて主に、飲食料品向けの原材料と環境関連商材を取り扱っております。

飲食料品市場においては、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う飲食料品メーカー各社の商品値上げが浸透しつつありますが、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。糖類や香料などの食品副原料、生クリームなどの乳製品、野菜及び果物の濃縮汁の販売が前年同期比で増加いたしました。加えて、消費者の健康志向の高まりからアサীর需要は引き続き高く、販売が好調に推移したこともあり、食品原材料の売上高は前期比で大幅に増加いたしました。また、環境関連商材においては、近年の猛暑やエネルギーコスト上昇による空調の効率化需要の高まりや、展示会への積極的な出展による認知度の向上が功を奏し、主に物流施設向けの大型シーリングファンの出荷が大きく伸長しました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における卸売事業の売上高は9,672,620千円（前期比15.7%増）となりました。

<製造販売事業>

製造販売事業では、鮮凍魚介類及び魚卵類の加工販売を行っております。

外食産業の好調な市場動向の影響を受け、魚卵製品および穴子やエンガワといった寿司ネタ商材の販売が前年同期比で増加いたしました。一方、2025年3月期第3四半期末における当セグメントに含まれていた連結子会社の除外の影響を受け、当第1四半期連結累計期間における製造販売事業の売上高は1,079,234千円（前期比16.6%減）となりました。

なお、2025年4月1日に子会社化したNIITAKAYA U.S.A. INC.の業績は、当第2四半期会計期間より反映されません。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

2025年4月1日にNIITAKAYA U. S. A. INC. の株式を取得し連結の範囲に含めたこともあり、当第1四半期連結会計期間末において資産、負債及び純資産の額が増加しております。主な要因は下記の通りとなります。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,393,087千円増加し、16,298,337千円となりました。主な要因は、売掛金並びに商品及び製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ322,136千円増加し、1,648,448千円となりました。主な要因は、NIITAKAYA U. S. A. INC. の買収に伴う有形固定資産及びのれんの増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,715,223千円増加の17,946,786千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,314,646千円増加し、9,337,965千円となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ115,915千円増加し、3,057,983千円となりました。主な要因は、長期借入の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,430,561千円増加し、12,395,948千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ284,662千円増加し、5,550,837千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,858,922	2,271,216
受取手形	154,584	142,374
売掛金	6,190,604	7,044,680
商品及び製品	3,589,364	4,498,884
未着商品	1,047,251	1,369,801
原材料及び貯蔵品	564,753	447,500
未収入金	149,829	181,798
その他	378,400	371,439
貸倒引当金	△28,462	△29,358
流動資産合計	14,905,249	16,298,337
固定資産		
有形固定資産	125,341	322,643
無形固定資産		
のれん	33,965	516,324
その他	45,142	42,229
無形固定資産合計	79,108	558,554
投資その他の資産	1,121,862	767,251
固定資産合計	1,326,312	1,648,448
資産合計	16,231,562	17,946,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,200,865	6,090,722
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
短期借入金	620,000	1,175,333
1年内返済予定の長期借入金	1,252,467	1,297,559
未払金	224,312	224,614
未払法人税等	385,606	170,896
賞与引当金	59,892	33,534
その他	200,174	265,305
流動負債合計	8,023,318	9,337,965
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	2,643,291	2,770,554
資産除去債務	3,047	3,047
退職給付に係る負債	25,297	26,023
その他	140,433	138,359
固定負債合計	2,942,068	3,057,983
負債合計	10,965,386	12,395,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	294,534	294,534
利益剰余金	4,444,121	4,714,242
自己株式	△196,991	△196,991
株主資本合計	4,905,052	5,175,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,154	102,339
繰延ヘッジ損益	△10,104	△268
為替換算調整勘定	127,956	111,559
その他の包括利益累計額合計	218,006	213,630
非支配株主持分	143,116	162,033
純資産合計	5,266,175	5,550,837
負債純資産合計	16,231,562	17,946,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,386,933	10,693,835
売上原価	8,291,195	9,336,979
売上総利益	1,095,738	1,356,855
販売費及び一般管理費	714,299	759,420
営業利益	381,438	597,435
営業外収益		
受取配当金	1,237	1,023
受取補償金	—	211
その他	1,437	1,345
営業外収益合計	2,674	2,580
営業外費用		
支払利息	9,080	14,578
為替差損	21,080	10,172
その他	394	790
営業外費用合計	30,554	25,541
経常利益	353,558	574,473
特別利益		
固定資産売却益	919	—
特別利益合計	919	—
税金等調整前四半期純利益	354,478	574,473
法人税、住民税及び事業税	152,245	159,668
法人税等調整額	△28,406	31,942
法人税等合計	123,838	191,611
四半期純利益	230,639	382,862
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,888	△799
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,528	383,662

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	230,639	382,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,191	2,184
繰延ヘッジ損益	30,587	9,836
為替換算調整勘定	43,024	△21,185
その他の包括利益合計	60,420	△9,164
四半期包括利益	291,060	373,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,225	379,286
非支配株主に係る四半期包括利益	7,834	△5,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	17,520千円	9,669千円
のれんの償却額	2,122	2,122

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,280,169	1,106,763	9,386,933	—	9,386,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,377	187,731	262,109	△262,109	—
計	8,354,547	1,294,494	9,649,042	△262,109	9,386,933
セグメント利益	327,444	97,070	424,514	△43,076	381,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,076千円は、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等△43,076千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に株式会社海鮮の株式を取得したことに伴い、のれんが42,457千円発生しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,614,856	1,078,979	10,693,835	—	10,693,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,764	254	58,019	△58,019	—
計	9,672,620	1,079,234	10,751,854	△58,019	10,693,835
セグメント利益	474,082	147,010	621,092	△23,656	597,435

(注) 1. セグメント利益の調整額△23,656千円には、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間にNIITAKAYA U. S. A. INC. の株式を取得したことに伴い、のれんが484,481千円発生しております。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は2025年4月14日開催の取締役会において、NIITAKAYA U. S. A. INC. の発行済株式の85%を追加取得し、NIITAKAYA U. S. A. INC. の発行済株式の95%を所有することにより、子会社化することを決議いたしました。当該株式の取得は、2025年4月16日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 NIITAKAYA U. S. A. INC.

事業の内容 漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心とした事業を展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

NIITAKAYA U. S. A. INC. は米国において漬物ガリ生姜製造販売及びテナント販売を中心に事業を展開しております。当社グループは、海外展開の加速を今後の成長戦略の一つと位置付けており、米国の漬物市場で高いシェアをもつNIITAKAYA U. S. A. INC. を子会社化することで米国食品市場への本格的な進出が可能となり、当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式取得を行うことといたしました。

③ 企業結合日

2025年4月16日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

95%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	950,061千円
-------	----	-----------

取得原価	950,061千円
------	-----------

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	59,000千円
-----------	----------

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

484,481千円

なお、のれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	763,957千円
------	-----------

固定資産	157,488
------	---------

資産合計	921,446
------	---------

流動負債	289,164
------	---------

固定負債	142,197
------	---------

負債合計	431,362
------	---------